

間人

の願い市政に届けます

生協職員として長い間、間人のみなさんにお世話になりました。

合併以来12年、周辺部は切り捨てられるばかりです。網野市民局で「地域にぎわい創り推進員」として、各地域のまちづくり・生活基盤整備の仕事に従事しました。しかし、暮らしの予算カット・値上げラッシュを押しつける現市政によって、なかなか地域の願いは実現しません。「地域の声が届かない」「意見を言えない」行政になっていることを痛感しました。

私は、間人のみなさまの声をまっすぐ市政に届け、がんばる決意を強く固めました。いつまでも住み続けることのできる活気あるまちに再生するために全力で働きます。ご支援を心よりお願いいたします。

●住み続けられる間人に●

長年の地域からの声が届かなかったため、3月に痛ましい事故が起きました。再び、このようなことが起こらないよう、安全・安心最優先の市政へ全力で頑張ります。



●災害に強いまちづくりを●

皆さんの願い実現へ

日本共産党の新人に

さらさらさくさくだわい



2016年4月17日
発行：日本共産党丹後地区委員会 電話：62-1159

日本共産党丹後地区委員会は、上記の見解を發表しました。

日本共産党

4.24
市議の選択

この声にこたえ
全力でがんばります。



生協職員27年 丹後のすみずみに足はこぶ

コープあみの、京都生協に勤務し地域のすみずみへ品物を届け、独居老人の安否確認、地域の方々と食の安全を考え合い生産者と消費者を結ぶ仕事をすすめました。この中で、お年寄りの悩み、いのちとくらし、安全など地域ごとの課題に直接、触れてきました。

「ふるさとの役に立ちたい」

市臨時職員
になつてまちづくりに従事

生協を退職後、網野市民局の「地域にぎわい創り推進委員」に。区長協議会の庶務担当などを務めました。仕事で忙しく区長協議会に出席できない区長さんを訪問するなど、地域要求の集約・実現の仕事に従事しました。周辺部が疲弊する状況に心を痛めました。

市民の苦勞に心寄せ 地域の役に立とうと奮闘

30代から郷区役員。地域要求のまとめ役で、「郷まちづくり計画」を提案する、情熱あふれるアイデアマンです。



● 実現へ、がんばります ●

- 公契約条例、住宅リフォーム助成制度で地域経済を元気に。
- TPP撤回を求め、農林水産業の振興、有害鳥獣対策を強化します。
- 市民の足としての公共交通を充実します。
- 高校卒業まで医療費無料化を拡充します。
- 高すぎる国保税を引き下げ・減免制度を拡充。上下水道料金値上げに反対します。
- 米軍レーダー基地の不安にこたえ、日米両国政府に撤去を求めます。



3期12年お世話になりました。暮らしの願いを届ける仕事、今度は日本共産党の新しい代表にやらせてください。

市会議員 森まさる

市民の声をうけとめ、いつも誠実

日本共産党の新しい代表は、

地域之苦勞、願いに心よせてくれる。
こんな人こそ議会で働いてほしい。